

- 2 ICA総会 英・マンチェスターで
- 3 とっとり、埼玉協同ネット 総会
- 4 センター所長会議共生ケア分散会  
介護保険制度改正の動向
- 5 「協同労働がつくる新しい社会  
—永戸祐三の格闘」を読んで
- 6 ・気候・環境アクション全国会議/朝倉さん連載
- 8 ・小山市中小放課後カラフルタイム働く人募集

# 日本労協新聞

## ICA・ワーカーズコープ

8/5

(2025年)

No.1388

発行所 日本労働者協同組合連合会 (JWCU)  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル7階  
☎03(6907)8040 FAX 03(6907)8041  
毎月 5日・15日・25日発行  
会員外は1部165円 年5940円(送料7452円)  
郵便振替 日本労協連機関紙誌部専用  
東京 00170-8-186765

URL: https://jwcu.coop/ E-mail: info@roukyou.gr.jp

# 協同労働、本当の民主主義めざし続けて

## 永戸祐三さん急逝 7月16日

日本労働者協同組合連合会相談役、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団特別相談役で、日本社会連帯機構代表理事の永戸祐三さん（77歳）が、7月16日に急逝しました。永戸さんは労働者協同組合連合会を創設、労働者協同組合運動をリードし、労働者協同組合法成立に貢献しました。埼玉県越谷市斎場での通夜式（19日）、告別式（20日）には多くの方が参列。喪主の長男・亮さん（センター事業団東京東部事業本部長）があいさつ。センター事業団代表理事・日本社会連帯機構専務理事の藤田徹さんらが弔辞を述べました。（関連4面。本紙 松沢）



永戸祐三さん

### 私たちの中で永遠に

労働者協同組合法の成立も永戸さんの情熱と実行力がなければあり得なかったし、法制化後には、ご自分の生き方を重ね合わせて映画「医師中村哲の仕事・働くこと」を企画されました。

藤田 徹さん



永戸さんと最後にゆっくり話せたのはセンター事業団の総代会が終了した日でした。

永戸さんは、現在の日本の社会運動の閉塞状況と労働者協同組合運動の大事さを改めて語り、労働の現場と地域から主体者をつくっていく協同労働運動こそ、分断された社会と個別テーマごとの社会運動をつなぐ中心になり得るのではないかと会話を交わしました。

センター事業団30周年記念座談会で、労働運動がここまで発展してきたのは、永戸さんが「理念と原則があれば誰でも自由にやっていた」という空気を広げてくれたおかげだと私が話したことを覚えておかげで、「あの言葉は嬉しかった」と何度も言われ、嬉しい気持ちになりました。

永戸さん、あなたの夢や情熱、哲学は若い仲間やリーダーたちに確実に引き継がれていますよ。私たちの中で永戸さんは永遠に生き続けています。本当にありがとうございました。

### 告別式 藤田、奥、古村さんが弔辞



あいさつする永戸亮さん（中央）、左は妻の百代さん

永戸祐三さんは昨年12月16日、肺炎で越谷市立病院に入院。命の危機を脱し、今年2月5日退院。仕事に復帰し、著書『協同労働がつくる新しい社会』（旬報社）も完成させましたが、肺炎治療の際の大量のステロイド剤によるものと思われる口内炎などで食事が十分とれず、年末には「見つからなかつた」と言われていた尿道がんが「発見」され、6月21日入院。7月2日に退院し、自宅で療養していました。

最後まで復活をあきらめず、7月26日に予定されていたセンター事業団埼玉事業本部の「講演・サイン・握手会」にも「出る」と言い続けていました。

### 仲間との一体感こそ

ある病院の仕事が、理由も根拠も示さず、突然契約解除通告を受けた時も、最後の砦、永戸さんに来てもらうと事態は一転、契約は継続、金額も15パーセントアップと大逆転勝利。トッパーリーダーは最も困難な場所に身を置いてこそ価値がある。どんなに厳しい事態にも逃げることもなく、決してくじけず死力を尽くすも。身をもって教えられました。

奥 治さん



永戸祐三さん。あなたは肺炎で入院し、なんとか踏ん張って2月5日、退院。その日から5カ月余り、朝9時半過ぎに毎日電話をかけた、「お互いに死にかけた身、その命は粗末にしてはならない、大事に神妙に生きよう」と励まし合ってきた。5月には小農ワーカーズ研究会・小田原で心のこもった演説を聞かせてくれ、来年4月、小農ワーカーズ埼玉大集会では一世一代の名演説が聞けると思い込んでおりました。

あなたは日本における労働者協同組合運動を本格的、実践的に創造した人、と言えるでしょう。その道は苦難の連続でした。全日自労中執時代、三役から連日呼び出され、全くのでっち上げで執拗に追及されて「ロープダウンだ」と

東葛病院の仕事が始まった頃、よく現場に連れられ、全国の仕事の広がり面白おかしく話し、清掃控室は笑い絶えない場所になり、現場の仲間とトッパーリーダーとの一体感が生まれていました。この一体感が協同労働の本質の価値だと思つた。労働者協同組合法を全面的に活用して、労働者、市民が自己決定権と主体性を遺憾なく発揮して、変革の渦を全国で巻き起こす。そのために最善を尽くすことを誓います。

### ありがとう、ゆうちゃん

入職して最初に、「これからは俺に相談するな。困ったら哲平（故横山哲平さん）に相談しろ。親戚関係はどうしたって最良（い）すると思われ。だから一切相談するな」と言ったよね。おかげでいろんな人に相談でき、たくさんさんの関係が築けて本当に良かった。

古村伸宏さん



親戚の中で一番好きで一緒にいて楽しかったゆうちゃん。激しい喧嘩を繰り返す大きなエネルギーの塊だった永戸家の中で、子どもながらに親しみと愛情を感じていました。

亡くなる日の朝、今日行ったら「ゆうちゃん」と呼びかけようと決めてました。でも、間に合わなかった。でももう約束終えていいよね。これからたくさん相談するね。たくさん報告するね。たくさん一緒に喜び合えるようにもつと努力するね。だから、叱ったりしながら優しく相談にのってください。

労働者協同組合へ誘ってくれた時、海のものとも山のものともわからなかったのに、少しも不安や不信感を感じなかった。



### 「佐高信の隠し味」に登場

YouTube「佐高信の隠し味」に永戸祐三さんが登場します。6月13日に収録されたもので、『協同労働がつくる新しい社会』をめぐる佐高さんとやりとりします。7月31日19時公開予定。

葬儀参列者には永戸さんの闘病中の写真や『協同労働がつくる新しい社会』推薦の言葉を載せた文書も